

---

# イッショ

美花

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
イツシヨ

【Nコード】  
N4542B

【作者名】  
美花

【あらすじ】  
ボク、姉さんのことがダイスキなんだ

（前書き）

ホラーに挑戦してみたんですが、別に怖くもなく悲しい話になってしまった（-\_-;）

ガンッ！！！！

鋭い音が真つ白い静かな部屋を支配した。

その中でたたずむ一人の女に、一人の子供。

子供は体のアチコチに酷い痣をつくり、力尽きたように横たわっていた。

その横に疲れたように立つ、目の虚ろな女。

その表情には何の感情も見られず

何者かに操られているかのようにさえ思える瞳の異常さ

横たわった子供は、今しがた殴られた頬の痛みを全身で感じながら、  
たたずむ女を見つめた

「何なのよ、その目は……！」

途端に女は火がついたように怒りの表情を露にし、横たわった子

供の腹を蹴りはじめる

子供はもう、泣き叫ばない

ガン!!

ガン!!

静寂な部屋に、その音だけがしばらく響いていた。

しばらくしてからやっと音はやみ、女は息切れをしながらも爽快感を表情に表しながら部屋を出ていった。

——やっと、終わった——

そう思った途端、子供の頬に涙が伝った

安心の後に訪れる、静かな哀しみ

殴られている時には分からない

自分を人形の様に化し、痛みを脳に感じとれないようにする

底無しのような暗闇の中で見つけた、微かな逃避。

恐怖もある

怒りもある

しかしそれ以上に一番強いのは

「哀しみ」

何があの人をあそこまで変えてしまったのだろう

何故姉さんはいつも泣きながら家に帰ってくるんだろう

どうしてその後無言でボクの部屋に入ってきて、ボクを殴ったり蹴ったりしてくるんだろう

どうしてそんなに哀しい表情なの？

どうしてボクの目を見ないの？

あんなにボクに優しくて、世話をしてくれていた姉さんを変えたものは、何？

ボクは、自分が何をされても侮辱をされても、姉さん、貴方の哀しむ顔を見るのだけは嫌なんだ

だから、殴られたって蹴られたって侮辱されたって死にかけたって構わない

貴方は必ず、スッキリした顔で部屋を出ていくから

貴方が少しでも哀しみを開放する事ができるなら、ボクは構わない

でも…

でもね

最近、おかしなことを思うようになってきたんだ

姉さんがいつものようにやってきて、ボクを殴ったり蹴ったりして  
いる時…

いっそ、このまま殺してくれないだろうか

て、思うようになってきたんだ

変だね？

姉さん、どうしてだろう？

ボク、死にたくなんかないはずなのになあ

あ…

前テレビで、

「いじめによって精神的に極限まで追い詰められた者は、自殺に走るか、家庭内暴力に走ることが多い」  
とか言ってた偉そうなオジサンがいた

「自殺」

とか

「家庭内暴力」

とか、難しい言葉はボクにはよく分からないけれど、

つまり

「死ぬ」

か

「家で暴れる」

ってことなんですよ？

そうか、姉さんは死にたかったんだね

ボク知ってるんだ、姉さんの左手首、傷がいっぱいあって、真っ赤になってて痛そうなんだ

姉さんは、いじめにあっていたんだね

ごめんね、気付いてあげられなくて

でも、もう大丈夫だよ

ボクが、姉さんを殺してあげる

寂しくなんてないよ、ボクも一緒だから

その日の晩

ボクは、台所に行ってママがいつも使ってるものを取り出した

姉さんは、まだ自分の部屋にいる

ボクは、ゆっくり、ゆっくり、階段を登っていった

姉さんは、まだ部屋から出てこない

部屋の前について、ノックをしてからドアをあけた

姉さんが、いた

ボクを見て驚いたみたい

姉さん、久しぶりにボクの目をちゃんと見てくれたね

ボクは、ゆっくり、姉さんの前まで歩いていく

姉さんはボクの手に握られているものを見て、顔を引きつらせた

大丈夫だよ、怖くない

ボクは右手で持っていた包丁を両手で握りしめ、

姉さんの頭上めがけて大きく振り上げた

「ズットー緒ニイヨウ？ネエサン」

E  
N  
D

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4542b/>

---

イッショ

2010年11月18日03時20分発行